

国立大学法人島根大学学長選考会議（第2回）〈議事要録〉

日 時 平成28年 6月24日（金） 16:05～17:10
場 所 本部棟3階 特別会議室
出席者 有川委員，泉委員，近藤委員
田坂委員（法文学部長），小川委員（教育学部長），廣光委員（総合理工学研究科長）
澤委員（生物資源科学部長）
欠席者 有澤委員，大谷委員，山口委員（医学部長）
〔陪席者：千家監事，総務部長，総務課長，総務・法規グループリーダー〕

最初に資料1に基づき事務方から今後のスケジュールについて説明があった。

議 題

1 学長の業務執行状況の確認について

昨年度の実施日程及び内容について事務方から報告があり，平成28年度についても学長からのヒアリング及び監事からの業務監査の報告を受けて実施していくことになった。

ヒアリング時期については，3月に確認内容を確定する日程上，2月の学長選考会議で実施することとなった。

また，ヒアリングの項目については，昨年からの社会的状況の変化なども踏まえ，10月の学長選考会議で再検討することとなった。

2 学長に対する業績評価について

今年度の実施日程について事務方から説明があり，大学評価委員会の評価結果と各年の業務執行状況の確認結果により3月に業績評価を行うことで了承された。

業績評価の時期については，任期満了のおおむね1年前に実施するものであることについて再度確認された。

また，大学評価委員会からの平成27年度の評価結果が10月の選考会議に間に合えば，報告することとなった。

3 学長選考基準について

次期学長の選考までに，学長選考基準についても確認を行うこととなった。

選考基準である「望まれる学長像」について検証するなかで，昨年度までの選考会議において報告されていた任期の問題について結論を出すことが必要との意見がでたことから，意向投票のあり方も含め，検討することとなった。

委員からの主な意見は次のとおりであった。

- ・ 前回の選考基準をベースにすることが必要ではないか。
- ・ 選考基準である「望まれる学長像」の第4に中期目標・計画の立案と着実な実施とあるが，次の学長の任期がどうなるかによって表現が異なってくる。
- ・ 業務の継続性の観点から二期目の時点の意向調査を行わない方法も他大学では行われて

いる。

議長から、次回の学長選考会議は、10月4日の経営協議会終了後とされた。